



NPOファシリテーションきたのわ

平成 27 年度 住民参加のための会議のつくり方 講座報告

会議や話し合いの場でのお困りごと Q&A 集





## これまでの活動実績〔2015年度の一部〕

### 【現場での話し合いやワークショップの進行】

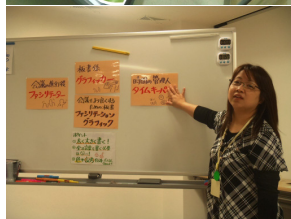
- 「奈井江町地域創生ワークショップ」にてワークショップ全4回を進行（奈井江町）
- 「経営理念づくり合宿」にて進行（NPO 法人コンカリーニョ）
- 「北竜町地方創生ワークショップ」にてワークショップ全4回を進行（北竜町）
- 「南弟子屈地域の将来ビジョン策定のワーキンググループ」にてワークショップ全10回を進行（弟子屈町）

### 【講座や研修会における講師】

- 「会議が変われば世界が変わる世界を変えるファシリテーション」講師（北海道大学 IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室）
- 中間支援センタースタッフ研修にて「会議の進め方」講師（北海道立市民活動促進センター）
- 「ファシリテーション入門講座」講師（北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会）

### 【自主開催講座や勉強会】

- 札幌市内4箇所にて「もっと話し合いを楽しくするためのアイデア講座」を開催
- きたのわ5周年企画 in 釧路「つまらない話し合いを参加して良かった！に変えた6人のヒント」を開催
- スカイブを使用して全道の会員同士をつなぎ、お互いの情報交換や現場の相談をする「学習交流会」を不定期で開催



## 平成27年度 住民参加のための会議のつくり方 ～札幌市内4区で「もっと話し合いを楽しくするためのアイデア講座」実施～

### 取り組み内容

「住民参加」や「協働」が掲げられている一方で町内会や自治会といった地縁型のコミュニティ組織が弱体化している現状がある。地域にかかわる多様な主体が積極的に参画してお互いの力や課題を共有しながら対話を積み重ね、協働できる地域社会の実現を目指すためには地域住民が意思決定における主体的役割をはたせるように手助けするファシリテーションが不可欠となる。そのために、住民参加のための会議のつくり方を体感する講座を実施する。

白石区本郷通 2015.11.12

北区麻生 2015.11.26

南区石山 2016.2.26

手稲区本町 2016.3.7



## 報告 1. 白石区本郷通「もっと話し合いが楽しくなるためのアイデア講座」

### 【日時】

2015年11月12日(木)  
10:30~12:30

### 【会場】

リサイクルと環境雑貨&カフェ  
「えこふりい」(札幌市白石区本郷  
通6丁目北1-23)

### 【講師】

宮本 奏、橋本 正彦

### 【協力】

リサイクルと環境雑貨&カフェ  
「えこふりい」

### 【プログラム】

- 10:30~11:00(30分)  
1. オリエンテーション
- 11:00~11:30(30分)  
2. 困った会議と理想の会議
- 11:30~12:20(50分)  
3. 会議を観察しよう
- 12:20~12:30(10分)  
4. 全体振り返り



### 取組み・成果

- 地域で実際に活動を行う方が参加したため、会議に対するより具体的な課題が出た。
- 会議の実践でも、現実味のあるものがテーマとなり、限られた時間ながらも次回から導入してみたいと思えるアイデアを絞ることが出来た。
- 地域に根差したスペースでの開催のためか、振り返り時に参加者同士でも課題を共有し、解決策を一緒に考える姿が見られた。

### 課題

- 地域では同じような課題を抱えている方がいるはずだが、そのような方に講座情報を周知する方法がわからなかった。
- 少人数だからこそ密度の濃い振り返りが出来たが、ある程度的人数でも同様の話し合いができるような進め方も必要と感じた。

## 報告 2. 北区麻生「もっと話し合いを楽しくするためのアイデア講座」

### 【日時】

2015年11月26日(木)  
9:30~11:30

### 【場所】

麻生キッチンりあん  
(札幌市北区麻生町5丁目1-3)

### 【講師】

宮本 奏、津田 光子

### 【協力】

まちづくりNPO 咲来  
麻生キッチンりあん

### 【プログラム】

- 9:30~10:00(30分)  
1. オリエンテーション
- 10:00~10:40(40分)  
2. 困った会議と理想の会議
- 10:40~11:20(40分)  
3. 会議を観察しよう
- 11:20~11:30(10分)  
4. 会議の基礎知識と振り返り



### 取組み・成果

- 町内会・商店街・サークルなど地域の人の参加する講座だったため困り事や悩みの共有を参加者同士がしやすい形となった
- すぐに実践できる具体的なアイデアを参加者自身が見出すことができた
- 地元のまちづくり団体から協力を得られたため、町内会の方の参加があった

### 課題

- 地域の方にもっと周知できたらよかった
- 会場が小さな子供がいても安心して食事ができるコミュニティカフェなので子連れでも参加できる工夫があると良かった

## 報告 3. 南区石山「もっと話し合いが楽しくなるためのアイデア講座」

### 【日時】

2016年2月26日(金)10:00~12:00

### 【会場】

地域情報交信カフェ Three café  
(札幌市南区石山 1-3-1-35)

### 【講師】

宮本 奏、津田 光子

### 【協力】

東海大学地域カフェ研究会

### 【プログラム】

10:00~10:30(30分)

1.オリエンテーション

10:30~11:10(40分)

2.困った会議と理想の会議

11:10~11:50(40分)

3.会議を観察しよう

11:50~12:00(10分)

4.会議の基礎知識と振り返り



### 取組み・成果

- 石山地区はまちづくり活動が活発なため、受講後すぐに住民が地域の課題を話し合う場において、本講座を活かすと実感した。
- まちづくり協議会の方から「こんなにいい講座なら、もっと宣伝すればよかった」という声をいただけた。今後の開催に繋げていきたい。

### 課題

- 参加者を増やす努力として、チラシの見直しや講座受講の利点をもっとうまく広報していきたい。
- まちづくり協議会の方々とパイプができたので、その繋がりを次回から活かしたい。

## 報告 4. 手稲区本町「もっと話し合いが楽しくなるためのアイデア講座」

### 【日時】

2016年3月7日(月)18:30~20:30

### 【会場】

ていねコミュニティカフェめりめろ  
(札幌市手稲区本町 1-3 3-1)

### 【講師】

宮本 奏、津田 光子

### 【協力】

ていねコミュニティカフェめりめろ

### 【プログラム】

18:30~19:00(30分)

1.オリエンテーション

19:00~19:40(40分)

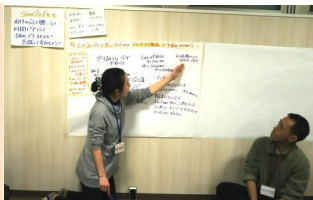
2.困った会議と理想の会議

19:40~20:20(40分)

3.会議を観察しよう

20:20~20:30(10分)

4.会議の基礎知識と振り返り



### 取組み・成果

- 手稲区近隣からの参加、また福祉やまちづくり、教育関係の活動に関わる参加者が多かったため、本講座で得た繋がりを、それぞれが今後も活かしていけることが実感できよかった。
- 団体のリーダーを担っているメンバーが多かったため、進行役とリーダーの違いについて気づきがあった。

### 課題

- 参加者が多い場合、2時間ではひとりひとりの学びを深めることがなかなか難しく時間が足りなかった。

## 会議や話し合いの場でのお困りごと Q&A 集

町内会や自治会、商店街、サークルなど地域の組織が抱える「会議のお困りごと」と解決するためのヒントやアイデアをいくつかご紹介します。

Q. 「長すぎる会議が伝統になっている。会議はそういうものだと思われるが、どうすれば良いですか？」

A. まずは「会議を短くしたい」という気持ちを参加者同士で確認することが大事ですね。時間を短縮する手法としては例えば、議題ごとに時間を設定して、制約を設けることで集中力が高まることがあります。まずは1つの議題にかかる時間を意識することからはじめてみると、次はどこの時間を短くできるかと具体的に対策を考えることができると思います。



Q. 「会議でひとりの人が長く話すぎちゃう時、どう対応したらいいですか？」



A. どのような状況でその人が何を伝えようとしているか、それをまずは理解する必要がありますね。そのうえで例えば、その方が話している内容を板書すると「自分の意見を受け止めてくれた」という状況が生まれ、何度も同じ事を言わなくてもよくなります。また、その人が言いたいことを進行役が途中で確認してあげることで、「自分の意見が伝わった」と安心してもらうこともできます。

Q. 「町内会の定例会など、参加者の人数が多いとき、どのように進行したらいいですか？」

A. 参加者から意見を多く出したい場合、少人数（4～6名）のグループに分けて意見を言いやすい場をつくります。グループで意見を出す時間をつくり、最後に各グループのなかで出た意見を全体で発表する方法もあります。



Q. 「どうしても意見の強い人の発言に引っ張られてしまいます。どうしたらよいのでしょうか？」

A. 会議に板書（ファシリテーション・グラフィック）を取り入れることで意見の強い人も弱い人も同じ一つの意見として記録されます。また話し合いが見えることで声の大きさや雰囲気によって流されてしまうことも少なくなりますね。



## 北海道で行動が生まれる参加型の話し合いの場を実践していくために、このような取り組みをしています。

### 現場を観て、現場で実践する機会をつくる

研修や講座において進行補助や運営補佐として関わることができるOJT制度を設け、共に学びあえる実践的な学習の機会を作っています。

### 実践現場で活かせる学習の機会をつくる

主に会員を対象とした、実践現場の悩みに直結する学習交流会を企画・実施しています。

### まちづくりのワークショップを組み立て、実践する

道内の市町村で条例や総合計画をつくる際に、必要な町民の意見を入れる場づくり（ワークショップ）の組立て・進行・紹介をしています。

### 行動が生まれる参加型会議の講座をする

地域のNPOや行政職員に、ファシリテーションに関する講座や研修をしています。





NPOファシリテーション

きたのわ

NPOファシリテーションきたのわ

<http://kitanowa.jimdo.com/>

この冊子は札幌市のさぽーとほっと基金で作成しました。